

相模女子大学日本学国際研究所開設準備室・松竹 共催

特別
講座

新作歌舞伎を創る喜び、体感する楽しみ —— 歌舞伎俳優・片岡亀蔵さんに聞く ——

相模女子大学日本学国際研究所開設準備室と松竹の共催により、
歌舞伎俳優・片岡亀蔵さんの登壇による1日限りの特別講座を開催します!

来年1月5日(金)より全国公開となる、宮藤官九郎作・演出のシネマ歌舞伎『唐茄子屋 不思議国之若旦那』で番頭小辰と吉原たんぼの蛙ゲゲコを演じている亀蔵さんが、これまでに出演した『大江戸りびんぐでっど』、歌舞伎NEXT『阿弓流為(アテルイ)』などの作品を中心に、新作歌舞伎の舞台裏エピソードや歌舞伎のもつ高いエンターテインメント性、新作歌舞伎の魅力を語ります!さらに、海外公演の思い出を振り返り、海外での歌舞伎に対するリアルな反応など、本講座ならではのトークテーマも展開いたします。

歌舞伎に触れたことのない方や初心者の方、また演劇好きな方にも入門しやすい作品を取り上げますので、ぜひ、お誘いあわせのうえ、ご受講ください。



片岡亀蔵プロフィール

かたおか・かめぞう(松島屋)
五世片岡市蔵の次男。1965年12月歌舞伎座『忠臣蔵』の天川屋義平の一子由松で初舞台。69年11月歌舞伎座『辨天娘女男白浪』の丁稚三吉ほかで四代目片岡亀蔵を襲名。最近では、10月歌舞伎座『文七元結物語』の家主甚八、11月平成中村座小倉城公演『義経千本桜』の武蔵坊弁慶などを演じ、12月歌舞伎座『天守物語』に小田原修理で出演する。古典歌舞伎から新作歌舞伎まで数々の作品で活躍し、幅広い役柄と独特の存在感で観客を魅了し続けている。また、無料配信サイト「美術展ナビ」にて【亀蔵meets】を連載中。詳しくは片岡亀蔵公式サイトをご参照ください!

新作歌舞伎を創る喜び、体感する楽しみ——歌舞伎俳優・片岡亀蔵さんに聞く—— 特別講座詳細

- ◆登壇:片岡亀蔵
- ◆開催日時:2023年12月23日(土) 13:00~(開場12:30)
- ◆会場:相模女子大学 7号館 711教室(予定)
- ◆受講料:無料
- ◆対象:相模女子大学の学生に限らず、一般の方もご参加いただけます
※ご参加は事前申し込みが必須となります
- ◆お申込み期間:11月21日(火)~12月20日(水)
- ◆お申込み方法:専用フォームまたはQRコードよりお申込みください。

<https://forms.gle/ARsiRR4huKsw4Xoc9>



【講座についてのお問合せ】
相模女子大学 生涯学修支援課 042-747-9047